

石原・宇尾研究室 (生体材料創成学) 本郷キャンパス



HPはコチラ！



人口の高齢化が進むなかで、身体に優しい医療は、患者の生活の質を改善するとともに、健康寿命の延長、労働人口の確保の点からも、その重要性がますます高まっています。現在の医療では病気の検査や診断、治療に様々な医療器具が利用されてきています。なかには身体に埋め込んで使用される人工臓器が、長期間にわたり命を守っている例もたくさんあります。これらの医療器具を、身体に優しくするためには新しいバイオマテリアル（生体材料）が不可欠です。この研究室では、患者の身体に大きな影響を与えることなく、安全に長期間利用できる医療器具を作ることを目指して、高分子（プラスチック）、金属さらにはセラミックなどの材料について研究を進めています。

水で潤滑するプラスチックを用いた
長寿命型人工股関節



高強度プラスチックを用いた
白色の歯科矯正ワイヤー

表面処理を行った美しい
セラミック人工歯



確実な診断

安全な治療

新しい医療

血液が固まらない人工細胞膜で
覆った埋め込み型人工心臓

バイオマテリアル工学

組織再生医療用の細胞を
常温で保存できるソフト
なゲル材料

